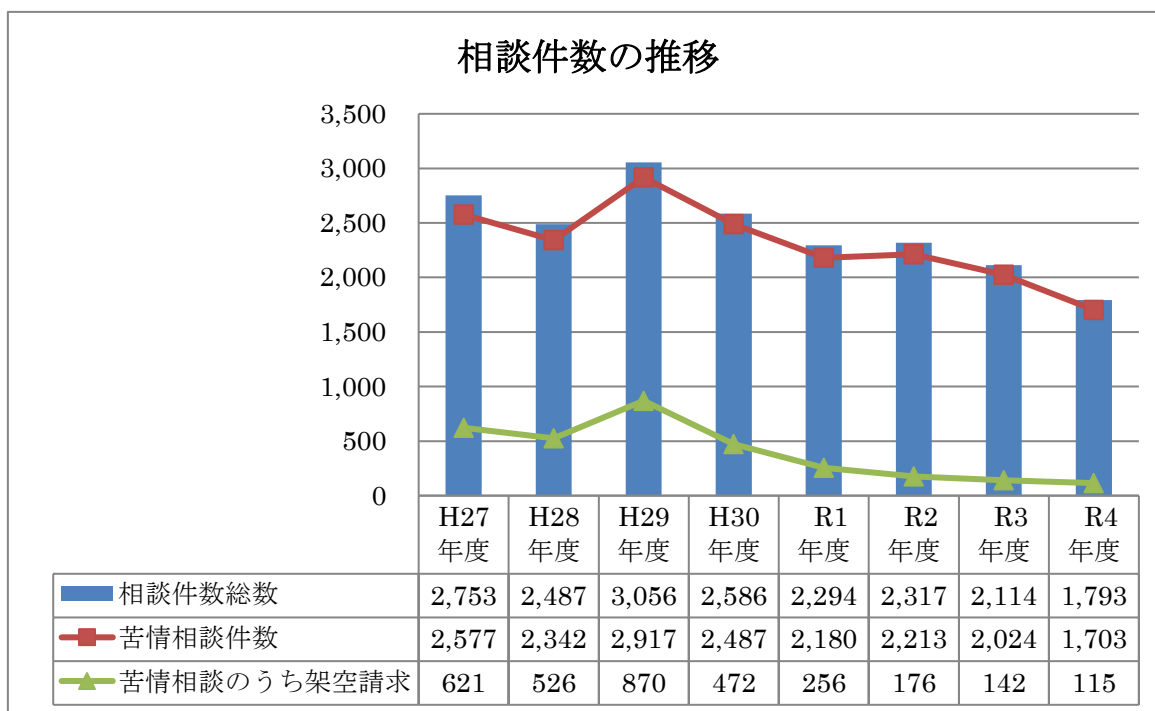


三重県消費生活センターの相談件数等の概要（令和4年度）

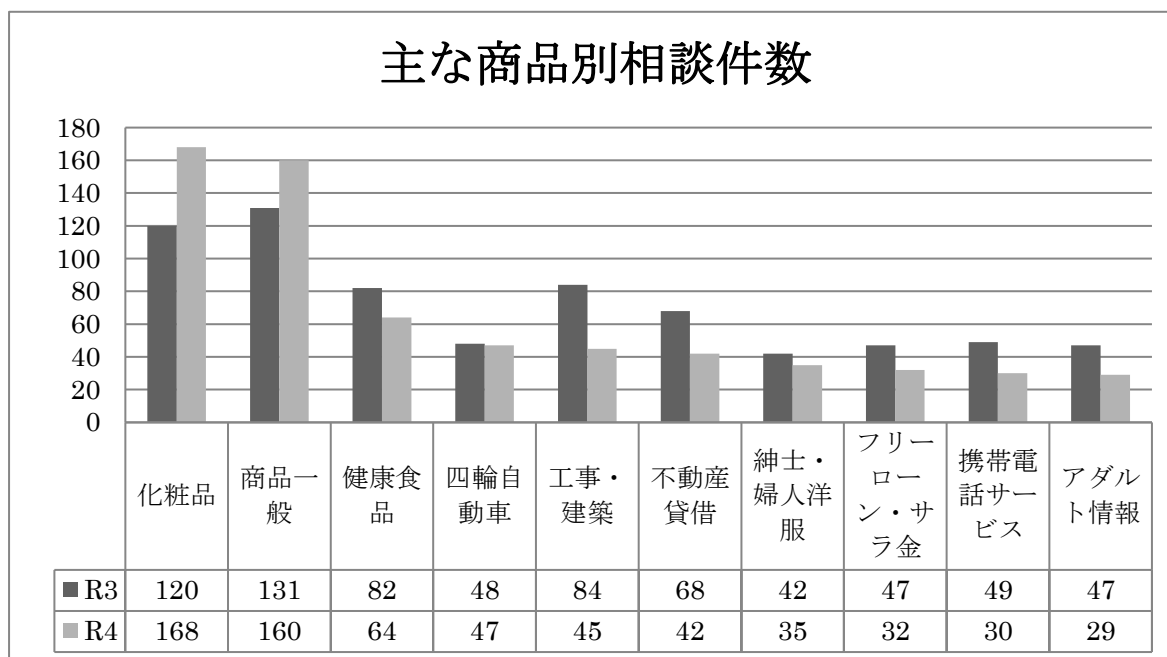
令和4年4月から令和5年3月までの1年間に、三重県消費生活センターで受け付けた消費生活相談件数等の概要をお知らせします。

1. 相談件数全般に関する概要



- ・ R4年度の相談件数総数は1,793件で、R3年度に比べて15.2%（321件）減少しました。
- ・ 相談件数総数のうち、問い合わせ等を除く消費生活苦情相談件数は1,703件で、R3年度に比べて15.9%（321件）減少しました。
- ・ 消費生活苦情相談件数の中で、架空・不当請求に関する相談は、115件で、R3年度に比べて19.0%（27件）減少しました。

2. 商品・役務別にみた概要



※アダルト情報は R3 年度から新設

	R3	R4	
化粧品	120	168	40.0%
商品一般	131	160	22.1%
健康食品	82	64	-22.0%
四輪自動車	48	47	-2.1%
工事・建築	84	45	-46.4%
不動産貸借	68	42	-38.2%
紳士・婦人洋服	42	35	-16.7%
フリーローン・サラ金	47	32	-31.9%
携帯電話サービス	49	30	-38.8%
アダルト情報	47	29	-38.3%

- 化粧品や商品一般についての相談件数が前年度と比較して大きく増加しましたが、それ以外は減少しました。相談件数が上位の商品や役務については、全年代で多く相談が寄せられている傾向があり、引き続き、各世代に対応した啓発や注意喚起を行う必要があります。

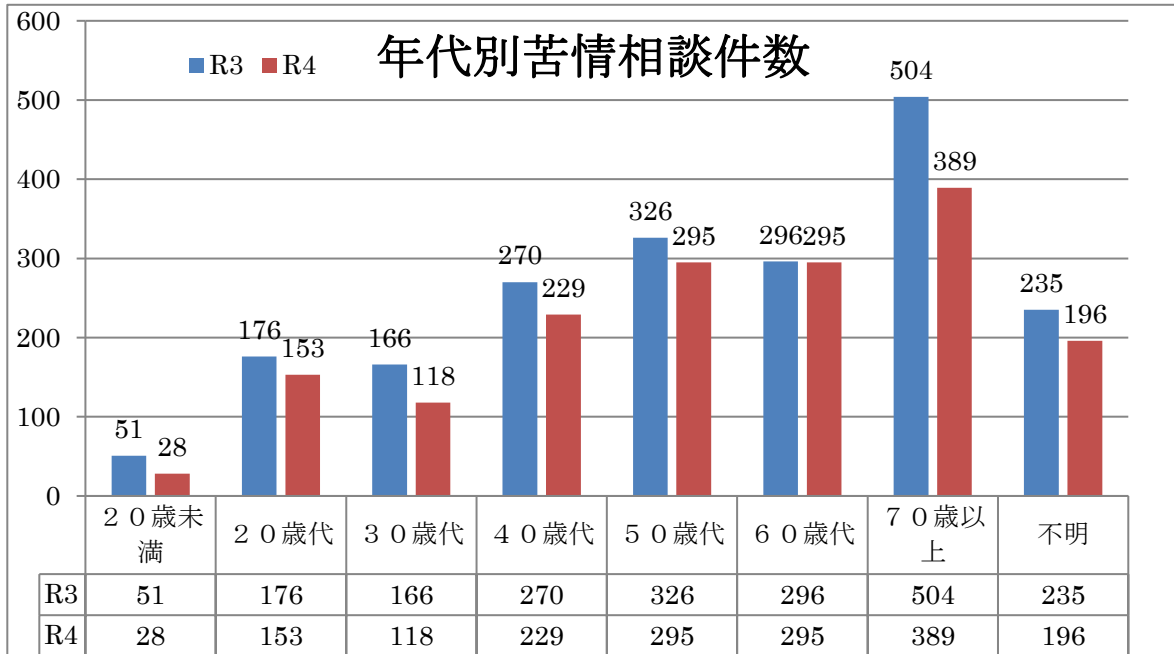
3. 契約当事者性別にみた概要

	男性			女性		
	商品・役務名	R4	R3	商品・役務名	R4	R3
1	商品一般	82	63	化粧品	127	93
2	化粧品	40	25	商品一般	63	53
3	四輪自動車	35	29	健康食品	34	56
4	健康食品	29	26	エステティックサービス	27	4
5	アダルト情報	27	38	家具・寝具 紳士・婦人洋服	各 21	13 24
	合計	793	967	合計	818	914

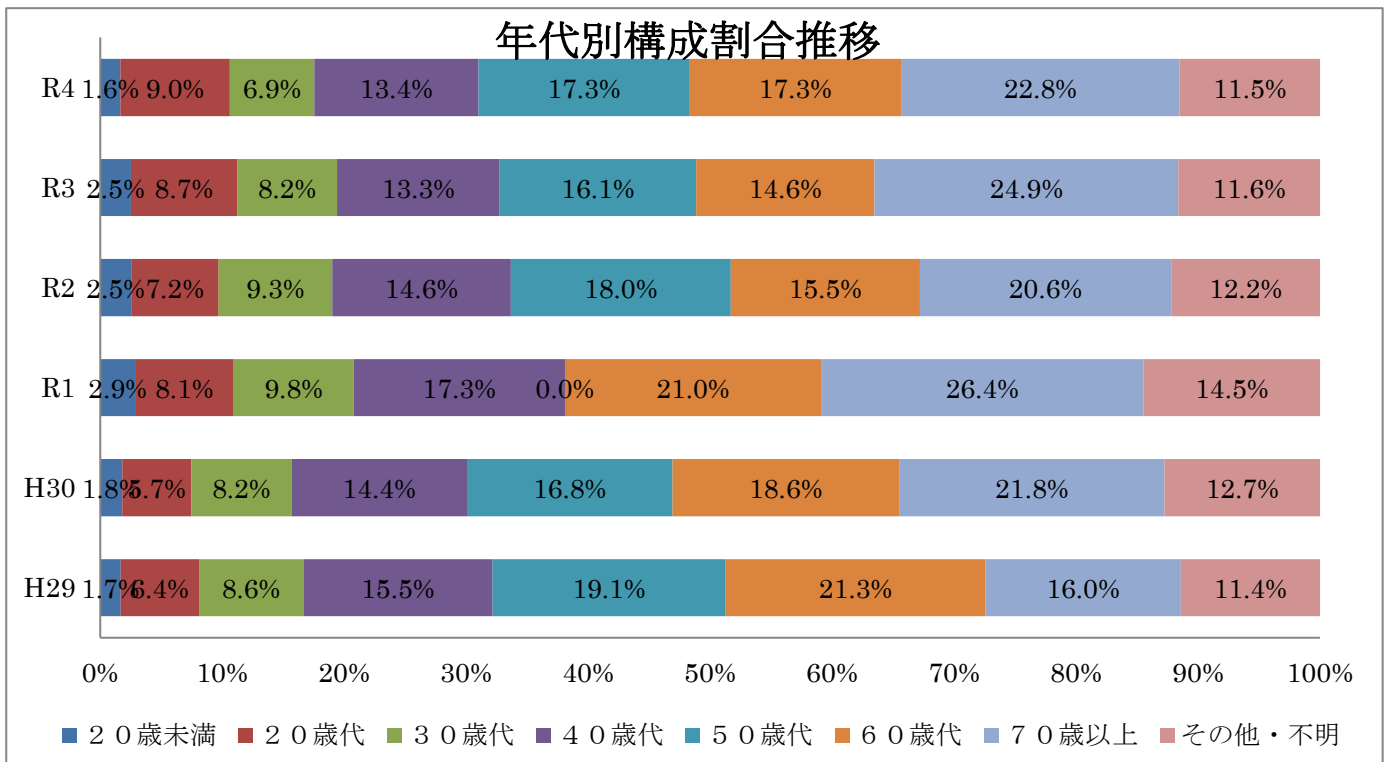
(注)上記のほかに団体や男女不明の相談件数が 92 件あります

- ・契約当事者の性別で見ると、男性の割合が 46.6% (793 人)、女性の割合が 48.0% (818 人) で、R3 年度と比べ、男女とも件数は減少し・女性比率が男性比率を若干上回りました。
- ・男性については、1 番目が「商品一般」の 82 件で、R3 年度の 63 件と比べて 19 件増加しています。
- ・女性については 1 番目が全世代で相談の多い「化粧品」の 127 件で、R3 年度の 93 件と比べて約 1.4 倍に増加し、若い世代で相談の多い「エステティックサービス」が 27 件で、R3 年度の 4 件から激増しました。
- ・男女共に「化粧品」の相談件数が増加しています。

4. 契約当事者年代別にみた概要



- ・契約当事者を年代別で見ると、件数は70歳以上が339件（構成割合22.8%）で最も多く、以下は60歳代、50歳代(60歳代と50歳代は同数)、40歳代、20歳代、30歳代、20歳未満の順になり、令和4年度と同順位となった。
- ・60歳代以上の相談件数は684件で、全体の4割以上を占めています。



5. 販売購入形態別にみた概要

販売購入形態	R4年度	R3年度	商品・役務名 (R4年度)					
			1		2		3	
通信販売	674	799	化粧品	157	健康食品	48	紳士・婦人洋服 商品一般	各30
店舗購入	420	507	不動産貸借	41	四輪自動車	39	エステティックサービス	27
訪問販売	172	229	工事・建築	16	新聞	15	修理・補修	11
電話勧誘販売	87	102	魚介類	15	商品一般	6	広告代理サービス	5
マルチ商法	16	20	ファンド型投資商品	4	化粧品	3	婦人下着 複合サービス会員	各2
訪問購入	13	10	アクセサリ	3	空調・冷房機器、着物類、四輪自動車		各2	
ネガティブ オプション	5	1	紳士・婦人洋服	2	家庭用工具、履物、他の教養娯楽品		各1	

- ・販売購入形態別の順位は、R3 年度と同様の順位となり、通信販売、店舗購入や訪問販売に関する相談が目立ちました。
- ・最も多い「通信販売」では、R3 年度と同様に化粧品、健康食品が上位を占めています。これらの商品は、どの年代においても相談の多い商品となっており、今後も注視していく必要があります。
- ・「店舗購入」も、R3 年度と同様に不動産貸借、四輪自動車が上位を占めていますが、3 位に若い世代からの相談が多かったエステティックサービスが入りました。
- ・「訪問販売」では、上位 2 つは R3 年度と同様でしたが、3 位に修理・補修の 11 件が入りました。

6. 販売方法・手口別にみた概要

※1件の相談で2つ以上の販売方法・手口が含まれる相談もあります。

販売方法・手口	R4年度	R3年度	商品・役務名 (R4年度)					
			1		2		3	
インターネット通販	539	594	化粧品	143	健康食品	40	紳士・婦人洋服	26
定期購入	226	163	化粧品	155	健康食品	45	タバコ用品	5
家庭訪販	125	191	新聞 工事・建築	各14	ソーラーシステム 電気	各9	給湯システム 修理・補修 衛生サービス	各7
電話勧誘	95	106	魚介類	15	商品一般	6	広告代理サービス 金融コンサルティング	各5
代引配達	95	86	魚介類	13	かばん	11	紳士・婦人洋服	10
無料商法	63	87	広告代理サービス	8	化粧品	7	アダルト情報	5
偽サイト	38	31	家具・寝具	4	婦人下着、紳士・婦人洋服、かばん、時計など			各3
ネガティブオプション	22	16	商品一般	8	健康食品 紳士・婦人洋服	各2	履物、かばんなど	各1
テレビショッピング	22	32	化粧品	6	健康食品 他の保健衛生品	各3	家具・寝具 医療用具	各2
サイドビジネス商法	21	32	内職・副業	9	化粧品 ファンド型投資商品 金融コンサルティング	各2	複合サービス会員など	各1
点検商法	19	39	役務その他サービス	5	工事・建築	4	食器・台所用品 修理・補修	各2
フリマサービス	14	29	商品一般 玩具・遊具	各4	健康食品、かばん、紳士・婦人洋服など			各1

- ・相談の中で最も件数の多い販売方法は、R3年度と同様、化粧品、健康食品を中心とした「インターネット通販」の539件でした。
- ・「定期購入」は226件で、R3年度の163件と比べて63件も増加し、化粧品、健康食品が突出しています。
- ・「家庭訪販」は125件で、R3年度の191件と比べて66件減少しましたが、相変わらず新聞、工事・建築の相談が目立ちます。
- ・「電話勧誘」は95件で、R3年度の106件と比べて11件減少しましたが、魚介類の相談が目立ちます。